

## PRESS RELEASE

2012年10月30日  
株式会社三菱総合研究所

## 2012年7-9月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より11月12日（月）に公表予定の2012年7-9月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2012年7-9月期	実質GDP	季節調整済前期比	▲1.1%	（年率 ▲4.5%）
	名目GDP	季節調整済前期比	▲1.0%	（年率 ▲3.8%）

2012年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲1.1%（年率▲4.5%）と予想する。5四半期ぶりのマイナス成長であり、その減少幅は東日本大震災時（11年1-3月期）以来、最大となる可能性が高い。

個人消費は、エコカー補助金による押し上げ効果の縮小に加え、これまで堅調に推移してきた外出関連や非必需品の消費にも息切れ感がみられ始めていることから、6四半期ぶりの前期比マイナスを予想する。設備投資は、海外情勢の悪化による生産活動の停滞を背景に、資本財出荷が大幅に悪化しており減少を見込む。住宅投資および公的固定資本形成は、復興需要による押し上げもあり前期に続き増加を予想する。

輸出は、欧州向けに加え、中国の景気減速を主因にアジア向け輸出が減少傾向を辿っており、3四半期ぶりの大幅減が見込まれる。一方、輸入は横ばい圏内での推移が予想され、ネットの外需では大幅なマイナス寄与となろう。

表 2012年7-9月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2011年	2012年		
		10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 予測
実質GDP		0.1	1.3	0.2	▲1.1
	季調済前期比年率	(0.3)	(5.3)	(0.7)	(▲4.5)
民間最終消費		0.7	1.2	0.1	▲0.3
民間住宅投資		0.1	▲1.6	0.9	1.0
民間企業設備投資		5.5	▲1.6	1.4	▲2.6
民間在庫	寄与度	▲0.4	0.3	▲0.2	0.0
政府最終消費		0.4	1.1	0.2	0.2
公的固定資本形成		▲1.0	3.6	1.8	2.2
財・サービス輸出		▲3.6	3.4	1.2	▲4.7
財・サービス輸入		1.0	2.2	1.6	0.1
内需	寄与度	0.8	1.2	0.2	▲0.3
民需	寄与度	0.8	0.8	0.1	▲0.5
公需	寄与度	0.0	0.4	0.1	0.1
外需	寄与度	▲0.7	0.1	▲0.1	▲0.8
名目GDP		▲0.3	1.3	▲0.3	▲1.0
	季調済前期比年率	(▲1.1)	(5.5)	(▲1.0)	(▲3.8)
GDPデフレーター	前年同期比	▲1.8	▲1.3	▲0.9	▲0.6
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.5	▲0.4	▲0.6	▲0.8

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。  
表中の実績値は、2012年4-6月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。  
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

＜本件に関するお問合せ先＞

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp  
広報・IR部 笠田・武居 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp  
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。